

付議事項_44回生実行委員の独自企画について

1. 付議事項

:「元サッカー部顧問松田氏×松本山雅テクニカルダイレクター下條氏」のスペシャル対談に関する、44回生実行委員の独自企画としての制作物について

2. 背景と目的

:今期会報で「サッカースペシャル対談(松田氏×下條氏)」の特集記事を掲載予定(台割 P10、P11)。当該対談については、さる2022/2/21に松本(縣陵同窓会館より松田氏)と鹿児島(キャンプ地より下條氏)をZoomで繋ぎ行われた。当日の両氏の対談については、当初想定していた時間を大幅に超え、非常に充実した内容となった。この貴重な対談について、エッセンスを削ぎ落とすことなく読者に十分伝えるには会報内の紙面2ページ(台割 P10、P11)のみでは足りないこと、またフルバージョン(あるいはそれに類する内容)をホームページへ掲載するとしても、ホームページへのアクセス数自体が限定的であろうことから一部の方にしか届けられない。また、コロナの先行きがまだ不透明な中、総会・懇親会が中止となる可能性も見据えつつ力を入れてきた本企画。44回生のレガシーとして、この対談内容の価値を減ずることなく貴重な資料として広範な読者に届けるため、44回生実行委員にて以下の企画に至った。

- ・44回実行委員会による独自企画・レガシーとして、当該スペシャル対談の企画物を制作する。
- ・形態/イメージは、A3両面中折(A4サイズ4ページ分)。会員への配布方法は会報への差し込みとする。

3. 経費見込み

会報「あがた」44号広告協賛金収入からの充当を希望いたします。

以上、44回生実行委員による独自企画・レガシーとしての企画制作物につき、ご了解をいただきたくお願い申し上げます。

補足 【44回生のレガシーへの思い】

●サッカー談議にとどまらない、お二方のご活躍の原点に縣陵と切り離せない大切な思いがあることを、読者の皆さまにもお伝えしたい。また今期のテーマ「紡ぐ～前へ」を体現してくれる対談内容であったことから、多くの同窓生へ共有できるツールとして、企画物を起案した。（総会・懇親会においても、編集動画を公開予定）

●来年の100周年を控えての対談企画としても、もし今期も総会・懇親会が限定的な規模での開催になってしまっても、この100周年前号の会報は意義あるものとして残るのではないかと考えております。